



関町小通信

平成30年6月1日
練馬区立関町小学校
学校だより 6月号

持ち味を生かして

校長 加園 正子

6月、紫陽花の咲く季節になりました。紫陽花には、紫・青・ピンク・白などの色やいろいろな形の花があります。どの紫陽花もそれぞれの異なった味わいがあり、道行く私達の目を楽しませてくれています。

先月の中旬から、各学級や専科（音楽・図工・理科・算数少人数）、かたくりルーム、ことばの教室での子供達の授業の様子を参観してまわっています。子供達は一単位時間（45分）の学習のめあてに向かい、先生や友達と言葉のキャッチボールをしながら、一人で考えたり、友達と一緒に考えたりする対話を通して、考えを深めながら意見をまとめていきます。関町小の多くの子供達は、めあてに向けて意欲的に授業に参加しています。友達とのペア学習・グループ学習での意見交流も日常的な学習活動になってきていますので、一人で考えているよりも学びが深いものになっています。先日も授業参観後に、子供から「今日の僕たちの授業の様子は、どうでしたか？」と感想を求められました。自分の持ち味を發揮しながら友達と意見交流し、主体的に自分の考えを表現することで、自信を深めたのだと思います。

どの授業でも、教師とそこにいる子供達の「持ち味」がコラボレーションしながら、互いに学び合う教室を創っています。授業は、教師の持ち味と、目の前にいる一人一人の子供の持ち味で創られていくものですから、他のクラスで同じ授業を試みても展開が異なることがあります。授業は生きています。本校の今年度の目標の一つに、「教職員の持ち味を生かした活気ある教育活動」の実践があります。教職員一人一人の持ち味を發揮しながら、子供、保護者・地域の皆さんと一緒に活気ある関町小の教育活動をすすめていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします

本校の研究テーマは、昨年度から引き続き「自ら考え、判断する児童の育成～主体的・対話的で深い学び～」です。松本将吾研究主任をリーダーとして、「特別の教科 道徳」を中心に進めています。5月25日には、今年度1回目の研究授業を4年生の笹崎学級（笹崎教諭は、本校の道徳教育推進教師です）で行いました。授業後には、講師の先生をお招きして研究協議会を行い、教員同士がグループに分かれ、授業の良かった点や課題、主体的・対話的な学びになっていたか、子供にどのような問いかけをすれば深い学びに繋がれるのか等を議論し、教員相互の学び合いの機会をもちました。この研究授業・協議会での意見交換、講師の先生から助言して頂いたことを明日からの授業作りに繋げていきます。

また、2学期12月8日土曜授業では道徳授業地区公開講座を開催いたします。これまでの校内研究での取り組みを紹介させて頂く予定でありますのでご予約ください。

授業後の研究協議会

